

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

今週の RPPC に関連する発表は、ございません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 28 年度リサイクルポートセミナーの開催について
2. NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信メルマガ 10 月号のお知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 苫小牧港長期構想検討委員会の審議始まる
2. 函館港港湾計画の軽易な変更を函館港地方港湾審議会です承

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 28 年度リサイクルポートセミナーの開催について

毎年開催しております「リサイクルポートセミナー」につきまして、本年度の開催日程が 決まりましたので、お知らせいたします。詳細につきましては添付のプログラムをご覧ください。

記

日時：平成 28 年 12 月 5 日（月）
講演会 14：00～17：00
交流会 17：10 頃～19：00 頃まで
会場：第一ホテル東京シーフォート

参加をご希望の方は、添付の「FAX 申込書兼参加証」にご記入の上 FAX にて、11 月 25 日（金）までにお申込みいただきますよう、お願い申し上げます。多くの皆様のお申込みをお待ちしております。

2. NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信メルマガ 10 月号のお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターより、NPO 法人発信のメルマガ 10 月号が届きました。添付ファイルをご覧ください。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 苫小牧港長期構想検討委員会の審議始まる

苫小牧港管理組合は苫小牧港長期構想検討委員会の第 1 回目を 9 月に開催し、苫小牧港を取り巻く情勢変化や苫小牧港の現状、問題

点などを審議した。

現行の港湾計画は平成 19 年に改訂され、平成 30 年代前半を目標年次に行っているが、改訂から 9 年余りが経過し、社会経済情勢、物流動向が大きく変化したため、新しい長期構想、港湾計画を策定する。

長期構想は概ね 30～40 年後（平成 60～70 年頃）、港湾計画は概ね 15 年後の平成 40 年代前半を目標年次に設定する。

策定のスケジュールは 29 年 1 月の第 2 回委員会で苫小港が抱える課題と問題点及び要請（継続整理）、苫小牧港が目指す姿（案）を審議する方針。

苫小牧港を巡る情勢変化としては、国際コンテナ戦略港湾政策への取組強化、国際バルク戦略港湾との連携、トラック運転手不足による集荷環境の悪化、西港区本港地区に隣接する苫小牧中央インターチェンジの建設と物流効率化への期待、北極海航路の利活用に向けた期待の大きさ、を挙げている。

【港湾空港タイムス】

2. 函館港港湾計画の軽易な変更を函館港地方港湾審議会です承

函館港港湾計画の軽易な変更が 9 月 26 日に開催された函館港地方港湾審議会です承された。クルーズ需要の増加に対応するため、若松地区で新たな旅客船岸壁を位置付けた。

函館港には 25～27 年の 3 年間でクルーズ船が 65 隻入港しているが、これらの船は主に市中心部から遠く離れ貨物が置かれている港町ふ頭に係留されており、上陸する乗客は函館観光への期待感を阻害され、交通の不便も強いられている。

このため、若松地区で既存施設を活用した旅客船ふ頭を計画する。岸壁は水深 10m、延長 360m。このうち 130m は青函連絡船記念館摩周丸の脇にあるドルフィン 2 基を改良して利用する。

旅客船埠頭の事業化時期は未定だが、市は若松地区でのクルーズ船受け入れ環境の整備を毎年、国に要望している。

【港湾空港タイムス】

発行者：RPPC 広報部会
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
木村 竜也 東京都
梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター
紫牟田 和隆 光和精鉱(株)
新谷 聡 りんかい日産建設（株）
リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木
URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

平成28年10月吉日

各位

リサイクルポート推進協議会（広報部会）

平成28年度 リサイクルポートセミナーのご案内

拝啓 時下ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、リサイクルポート推進協議会活動にご協力頂き、誠に有り難うございます。

本協議会で例年開催しております「リサイクルポートセミナー」について、本年度は平成28年12月5日（月）に開催する運びとなりました。

リサイクルポートセミナーは、事業者によるリサイクルポートの活用が進むよう、最新的话题をテーマに各方面から講師をお招きして開催しておりますが、今回は、使用済み電気・電子製品等の国内外の資源循環や有用金属の回収等の話題を取り上げて講演を企画しております。

また、平成28年4月に発生しました「熊本地震」について、被害状況や災害廃棄物対策等の講演も企画しております。

会員以外の方の参加も歓迎しておりますので、関係者お誘い合わせの上ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

また、講演終了後に懇親会も企画しておりますので、多くの方のご参加をお願い申し上げます。

敬 具

○参加ご希望の方は、別添の「FAX 申込書兼参加証」にご記入の上、ファクシミリでお送り下さい。

※当日は、「FAX 申込書兼参加証」をご持参の上受付にご提出下さい。

○締切：平成28年11月25日（金）

○問い合わせ先

リサイクルポート推進協議会事務局

一般財団法人 みなと総合研究財団 内

（担当：本野、清水、菅木）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目1番10号

第2 虎の門電気ビルディング4階

TEL:03-5408-8296 FAX:03-5408-8741

平成28年度
リサイクルポートセミナープログラム（案）

講演会

開催日時：平成28年12月5日（月） 14:00～17:00
場 所：第一ホテル東京シーフォート 3階ハーバーサーカス

14:00 開会

来賓挨拶

14:05 基調講演

「使用済み家電製品等の国際循環の適正化について」（仮）

講師：国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 副センター長 寺園 淳

15:10 講演①

「環境省 リサイクル行政の動向」（仮）

講師：環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室

15:40 休憩

16:00 講演②

「使用済み電子部品等の輸入と金属回収（再資源化）について」（仮）

講師：エコシステムジャパン(株) リサイクル原料部 岡田侑季

16:30 講演③

「熊本地震の災害廃棄物対策について」（仮）

講師：環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

17:00 閉会

会員交流会

開催日時：平成28年12月5日（月）17:10頃～19:00頃（セミナー終了後）
場 所：第一ホテル東京シーフォート 28階 トップ・オブ・ザ・ベイ
交流会参加費：3,000円/人 ※参加費は、当日会場受付にて申し受けます

主 催：リサイクルポート推進協議会
後 援：(一社)日本経済団体連合会、国土交通省、経済産業省、環境省（予定）
協 賛：(一財)みなと総合研究財団（予定）

リサイクルポート推進協議会

平成28年度 リサイクルポートセミナー

開催日時：平成28年12月5日（月）

会 場：第一ホテル東京シーフォート

東京都品川区東品川 2-3-15

TEL：03-5460-4411

講演会 3階ハーバーサーカス 14：00～17：00

交流会 28階 トップ・オブ・ザ・ベイ 17：10～19：00頃



- 東京モノレール「天王洲アイル駅」下車、中央口直結
- りんかい線「天王洲アイル駅」下車、出口Aより徒歩4分
- JR品川駅（港南口）より都営バスにて約5分
りんかい線「天王洲アイル駅行」バス・「天王洲アイル」下車

F A X 申 込 書 兼 参 加 証

(本状をセミナー当日、受付にご提出下さい)

送信先：リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人 みなと総合研究財団

菖木／清水／本野 宛

FAX (03) 5408-8741

平成28年度 リサイクルポートセミナー

日 時：平成28年12月5日(月) 14:00～

会 場：第一ホテル東京シーフォート

講演会 3階ハーバーサーカス

懇親会 28階 トップ・オブ・ザ・ベイ

●参加者等記載欄

リサイクルポート推進協議会のセミナーへの参加について、下記に必要事項をご記入の上、11月25日(金)までにFAXにてご返信下さるようお願いいたします。

なお、参加者名簿を作成しますので、所属・役職名等は詳細にご記入下さい。

※○を付けて下さい。

講演会	参加	不参加
交流会	参加	不参加
会員・非会員の別	会員	非会員
貴社・貴団体名		
ご所属・ご役職		
ふりがな ご出席者名		
ご住所	〒	
T E L	()
F A X	()
e-mail		

※複数名お申し込みの場合は、この用紙をコピーのうえ、お一人様1枚でお申し込み下さい。

※申込者多数の場合、1会員当たりの人数を制限させて頂く場合がありますのでご了承下さい。

※本申込書兼参加証にご記入頂いた個人情報は、厳正な管理のもとで安全に管理し、本セミナー実施に関する目的以外には使用いたしません。

※交流会参加費：3,000円/人 ※参加費は、当日会場受付にて申し受けます。

PORTTOWN MAGAZINE

<2016年10月号>

2016年10月15日配

このたびの熊本県および、大分県を震源とする地震により
被害を受けられた皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます

みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今月も日本海側リサイクルポート、能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思います。それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

////// I N D E X //////////////////////////////////////

① 能代港ニュース

- ・港湾の洋上風力/経産、国交両省が検討委員会初会合。拡大へ統一審査基準

② 酒田港ニュース

- ・たくさんの人達に「酒田港」の魅力を！！
- ・第6回酒田港国際資源循環フォーラム開催のご案内

③ 姫川港ニュース

- ・「国石」にヒスイ選定…産地・糸魚川は喜びの声

④ 境港ニュース

- ・「国際物流ターミナル」 大型船寄港、新たな岸壁 輸送効率化、観光活性化に期待

⑤ 編集後記

■ 能代港ニュース _____

港湾の洋上風力/経産、国交両省が検討委員会初会合。拡大へ統一審査基準。

経済産業省と国土交通省は、「港湾における洋上風力発電施設検討委員会」の初会合開き、電気事業法の技術基準と港湾法の基準を統一的な考え方に基づく、審査基準づくりを開始した。来年2月には「洋上風力発電施設の構造の審査基準骨子」を策定、2017年度には詳細版と「工事実施の方法にかかる審査の参考指針」を、18年度には「維持管理の方法の審査基準」を順次策定する。現在全国の9港湾で洋上風力発電の導入計画があり、北九州港（福岡県）のほか、▽稚内港内（北海道）▽石狩湾新港内（同）▽むつ小川原港内（青森県）▽能代港内（秋田県）▽秋田港内（同）▽酒田港内（山形県）▽鹿島港内（茨城県）▽御前崎港内（静岡県）の9港湾で、建設業界にとっては新たな建設市場になる。

■ 酒田港ニュース _____

たくさんの人達に「酒田港」の魅力を！！

「酒田ビッグビーチフェスタ2016」

「酒田ビッグビーチフェスタ2016」が22日、酒田市の大浜海岸であった。家族連れらが砂に足を取られて悪戦苦闘しながらも、砂上での障害物競走など多彩なプログラムを楽しんだ。時折雨が降り、強い風が吹く中、ビーチバレーボール大会や家族対抗はだし運動会、自動体外式除細動器（AED）の使用法や注意点を学ぶ「いのちの教室」、熱中症対策にスイカを振る舞う「給スイカ」などが繰り広げられた。

第6回酒田港国際資源循環フォーラム開催のご案内

平成23年11月に酒田港がリサイクル貨物部門における日本海側拠点港に選定されたことを受け、リサイクルポート間の情報交換と交流、循環資源のさらなる物流拡大、そして、対岸諸国との国際資源循環ネットワークの構築を目的として、第6回酒田港国際資源循環フォーラムを開催いたします。

催に先立ちまして、同会場にて14時から能代港・姫川港・境港・酒田港の四港による意見交換会を行います

〈第6回酒田港国際資源循環フォーラム 開催概要〉

日時 平成28年10月27日（木）

四港意見交換会 14時00分～14時45分

国際資源循環フォーラム 15時00分～17時00分

会場 ガーデンパレスみずほ

（酒田市みずほ2丁目17-8 TEL0234-23-8012）

参加費 無 料

主催 NPO法人庄内リサイクル産業情報センター

共催 酒田港リサイクルポート推進協議会

後 援 国土交通省／環境省／山形県／酒田市／鶴岡市／遊佐町／庄内町／三川町／
リサイクルポート推進協議会／山形県港湾協会／酒田港湾振興会／酒田商工会議所
(予定)

《連絡先》

NPO法人庄内リサイクル産業情報センター 事務局 斎藤

TEL：0234-31-7117 (直通) FAX：0234-43-6444

■ 姫川港ニ ュ ー ス _____

「国石」にヒスイ選定…産地・糸魚川は喜びの声

日本鉱物科学会は24日、「日本の石（国石）」にヒスイを選定した。

産地として有名な新潟県糸魚川市の米田徹市長は「ヒスイを郷土の誇りと宝としてきた。これ以上の喜びはない。『ユネスコ世界ジオパークのまち』として、これまで以上にヒスイを活用した取り組みを進めたい」と喜びのコメントを発表した。

ヒスイは約5億年前に海洋プレートが沈み込む地中深くに生まれた宝石。約7000年前の縄文時代に国内で作られたハンマーは人類初のヒスイの加工品であり、縄文、弥生、古墳時代の遺跡で見つかった勾玉などのヒスイ製品は糸魚川産という。糸魚川市は2008年にヒスイを市の石に選んでおり、日本地質学会が今年5月に発表した都道府県の「県の石」でも新潟県の石として佐渡の自然金などと共に選ばれている。

■ 境港ニ ュ ー ス _____

「国際物流ターミナル」 大型船寄港、新たな岸壁 輸送効率化、観光活性化に期待

境港市の境港に、大型（3万トン級）の貨物船に対応できる新しい岸壁「中野地区国際物流ターミナル」が完成した。大型船が接岸の順番を「沖待ち」してきた問題を解消し、今後の施設整備でクルーズ船の受け入れ能力も向上させ、インバウンド（訪日外国人）観光の活性化を狙う。

